

## 任意団体 全国ブラックバス防除市民ネットワーク

# 水辺保全と外来種問題を市民・住民とともに考える ～多様な主体が協働する場づくりのための課題整理～

イベントの延べ参加者数	11,843人
イベント実施の延べ団体数	331団体
活動の全体目標に対する達成度	95%



企業とのコラボで実施された自然観察会

### ◆成果と工夫したポイント

#### ●成果

水辺の外来種問題に取り組むためのプラットフォームづくりの課題・問題点を洗い出すことを目標としたが、ほぼ達成できた。

#### ●工夫

ワークショップを開催し、プラットフォームづくりの先進団体から取組みの創意工夫について事例紹介を受けた。

### 課題

市民・住民、研究者、行政、漁協・農業者等の生産者、企業など多様な主体が連携・協働して、外来種問題に取り組むことができる場（プラットフォーム）を構築すること。

### 目標

外来種問題に多様な主体が連携・協働して取り組むための、プラットフォーム構築における問題点・課題の整理。

### 活動内容

水辺の外来種対策に関する理解と協力を得るために次の普及啓発活動を行った。

①外来種駆除活動、自然観察会などの活動を通じ、水辺保全と外来種問題を市民に知ってもらうための活動。②学習会、情報交換会、シンポジウムなどの実施により、水辺保全と外来種対策について、必要性を理解してもらうための活動。③水辺保全と外来種問題に関するプラットフォームづくり課題の検討・整理のためのワークショップ開催。

### 達成できなかったこと

実施目標の一つとして年間参加者数3万人を挙げたが、実績は1万人強だった。実施団体の組織力の不足が原因と思われる、プラットフォーム強化の必要性が痛感された。

### 今後の展望

水辺の外来種問題対策のための多様な主体が参加するプラットフォームを構築し、全国的な活動に発展させたい。



小学生も参加した外来魚情報交換会